

特集

多疾患併存患者への 在宅ケアの展開

シナリオで学ぶ 「マルチモビディティ」時代の看護

2型糖尿病、慢性心不全、骨粗鬆症、認知症、変形性膝関節症を併せ持つ患者——。

こうした主たる慢性疾患を複数抱える療養者は決して珍しい存在ではありません。多疾患併存（＝マルチモビディティ）患者に対しては、単一疾患を念頭に置いたアプローチではなく、総合的に関わっていく必要があります。

……とはいえ、「総合的」と言ってもどのようなことを考慮すればよいのでしょうか。本特集では、「多疾患併存」であることによって療養者に生じるリスクや負担について解説。その上で、「本人のできそうなこと」と「治療負担」に注目する「バランスモデル」という考え方をもとに、シナリオで多疾患併存患者へのケアを学びます。

在宅高齢者のマルチモビディティケアを考える 「バランスモデル」を知ろう

●大浦誠

シナリオで学ぶマルチモビディティケア 「バランスモデル」を体感しよう

- ① 大学病院にも通院している在宅患者
- ② 薬がたくさん家から出てきたら
- ③ 患者さん、実は「アドバイス」で困っている？
- ④ サポートを増やそう
- ⑤ レジリエンスを高めよう

●大浦誠

※一部変更となることがあります。

編集後記

今 月の特集をまとめてから気付いた皆さんの共通点は、「医療的に重症とされる方こそ、社会へ！」というお気持ちでした。それが「訪問看護師らしさ」なのかもしれません。新しい事業は、訪問看護師として皆さんが出会ってきた利用者さんたちの「切なる声」が形になった結晶のようなものなのだろうと思います。「家に帰りたい」だけでなく、「家から出たい」をも叶える事業多角化のお話はどれもこれもドラマチックで、何1つこれまでどこにも書かれていないことばかりでした。ご多忙中、皆さん本当にありがとうございました。……米沢

事 業の多角化。皆さんのエピソードから、「手広くやる」ことを前提としていたわけではなく、「その人のためになることをした」結果として事業展開に至っていることがよく分かりました。大事な原点の位置はそのままに、ただただその点を大きくしていっているのか、と。▶それにしても、必要に迫られたからとはいえ、そこでしっかりと足を踏み出してしまうことに「すごい！」とも思いました。自分にはそうした精神が備わっているだろうか。躊躇してしまいそうです（そもそもなんの資格もないが）。こういう、看護師さんならではのなんとか応答しようとする力に感動してしまいます。……小池

訪問看護と介護 第26巻 第9号（通巻303号） 2021年9月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 2021, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*『訪問看護と介護』は株式会社医学書院の登録商標です。